

令和 7 年度の取り組みについて

1 主旨

前回（第 20 回）に議題とした内容と重複しますが、実績値等で進行管理を行う事業計画とは別に、条例に基づく施策の体系ごとに、現状の課題と目標を整理し、令和 7 年度に実施したい取り組みをまとめましたので、ご意見・ご提案がありましたらお願いいたします。

2 取り組み案

(1) 情報取得及びコミュニケーションの支援の充実			
ア コミュニケーション等支援者の養成			
	課題	目標	令和 7 年度の取り組み
1	手話通訳者、要約筆記者等の人数が増えない	将来を見据えてニーズに対して必要な通訳者等の人数を確保する	(継続) 各種講習会の継続実施
			(継続) 通訳者等の処遇の向上
			(新規) 手話通訳者・要約筆記者へのアンケートによる今後の通訳者の人数推移の分析
2	講習会の参加者の人数が年度によって差があり安定しない	効果的で安定した広報手段を確保する	(新規) 紙媒体・SNS 等の広報手段の情報収集・効果分析

(1) 情報取得及びコミュニケーションの支援の充実			
イ コミュニケーション等支援者の派遣の拡充			
	課題	目標	令和7年度の取り組み
1	手話通訳、要約筆記について、利用者からの派遣ニーズに応えきれていない	将来を見据えてニーズに対して必要な通訳者等の人数を確保する（再掲）	(継続) 各種派遣事業の継続実施
			(新規) 過去の利用実績や利用者のデータを把握し、今後のニーズの推移を分析
			(新規) オンラインによる遠隔での通訳等の仕組みづくりができないか検討
2	失語症者向け意思疎通支援者派遣事業の利用者がいない	利用者の掘り起こしを行う	(新規) 市内のケアマネージャーや医療機関に事業の周知を行う
ウ 情報取得及びコミュニケーションの支援のための機器の情報収集、利用普及			
	課題	目標	令和7年度の取り組み
1	さらなる情報取得及びコミュニケーション支援のための機器等の情報把握	可能な限り多くの情報を把握する	(継続) 機会を捉えて情報収集を行う
(2) コミュニケーション等手段の普及の啓発			
ア 市内の講演会等でのコミュニケーション等支援者の配置の啓発			
	課題	目標	令和7年度の取り組み
1	さらなるコミュニケーション等支援者の配置	コミュニケーション等支援者の配置の拡大	(継続) 市主催の講演会等への通訳者等の配置の継続
			(新規) 市内の企業団体等への啓発

(2) コミュニケーション等手段の普及の啓発			
イ 障害者の理解を深めるための、市民への啓発			
	課題	目標	令和7年度の取り組み
1	さらなる市民への障害者理解の促進	障害者理解を啓発する機会・場を増やす	(継続) 手話通訳・要約筆記の初心者向け教室の継続開催
			(継続) 点字図書館見学の受入
			(継続) 出前トークの実施
			(継続) 点字図書館フェスティバルの実施
			(一部新規) イベントでの手話体験ブースの設置拡大
			(新規) 学校等への出前授業の検討
(3) 情報取得の機会の拡大及び方法の充実			
ア 録音版、点字版等、多様な方法での情報発信			
	課題	目標	令和7年度の取り組み
1	さらなる市の発行物等における情報保障の拡大	市の発行物等について可能な限り情報保障を広げる	(継続) 広報よこすかの録音版・点訳版の作成の継続
イ 不特定多数の人が集まる場所における音声、文字、手話、視覚情報等による情報提供の充実			
	課題	目標	令和7年度の取り組み
1	災害時の避難所での情報保障の手段が確立されていない	避難所で適切な情報保障が行われるようにする	(新規) 他都市の好事例等を踏まえ、避難所での情報保障の望ましいあり方を資料としてまとめる

その他、令和8年度に次期障害者計画の策定を行うにあたり、計画に盛り込むべき内容について協議会で意見出しを行う。

手話通訳者・要約筆記者対象アンケート

<目的>

- ・ 現任の通訳者に対し、通訳者を目指すに至った動機やきっかけを確認することで、どのような対象者に向けて、どのような方法で呼びかけることが通訳者確保に効果的なのかを検証する。
- ・ 通訳者の年齢や活動期間等を確認することで、今後の通訳者の人数の推移を予測し、今後も一定の通訳者数を確保するための通訳者養成の目標値を立てる。
- ・ 通訳者として活動開始するまでに長い期間かかっている場合、どこが壁になっているか（市の講習会の進級試験、全国统一試験、認定試験など）を把握することで、今後の養成方法の検討材料とする。

<アンケート実施対象者>

- ・ 現任の手話通訳者・要約筆記者
- ・ 引退した手話通訳者・要約筆記者のうち協力いただける方
- ・ （手話通訳者養成講習会（応用）受講者）

<アンケート項目案>

- (1) 現在の年齢
- (2) 手話講習会または要約筆記講習会を受講開始した年齢
- (3) どのようなきっかけで講習会を受講することになったか
- (4) 講習会を知った経路（広報よこすか、ちらし、知人からの口コミなど）
- (5) 通訳者を目指すに至った動機・きっかけは
- (6) 通訳者として活動開始した年齢
- (7) 通訳者として活動開始するまでに何年かかったか
- (8) 活動開始するまでの期間の内訳
- (9) 何歳で引退したか（引退した方向けの質問）
- (10) 引退を決めた理由は（引退した方向けの質問）

<その他>

このアンケートとは別に、今後の通訳のニーズの推移や、一人あたりの平均対応数等を把握し、通訳者がどの時点で何人確保できていればニーズを充足できるのかも確認する。